令和 7 年 3 月 11 日 開 会

令和 6 年度第12回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

令和6年度 第12回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和7年3月11日(火)	教育長 坂元 裕人	教育総務課長 草野 浩一
午後2時	教育委員 明石 浩久	学校教育課長 川崎 史明
↓		
午後3時38分	教育委員 葛迫 幸平	社会教育課長 大山 昭
第2研修室	教育委員 田之上 厚美	
	教育委員 福里 由加	

会議要旨

1 開会

定刻、定足数に達しており、令和6年度第12回教育委員会定例会を開会した。

議案第3号から議案第7号までについては、非公開で審議し、その他事項(1)については非公開にする旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 前回会議録の承認について

令和6年度第11回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 議事

- 議案第3号 令和7年度「垂水市の教育」基本方針について
- 議案第4号 垂水市立学校の在り方検討委員会設置要綱の制定について
- 議案第5号 令和7・8年度の垂水市学校薬剤師の委嘱について
- 議案第6号 垂水市教育委員会教育長の辞職の同意を求めることについて
- 議案第7号 垂水市教育委員会委員の辞職の同意を求めることについて

4 その他

- (1) 卒業式入学式の出席について
- (2) 鹿児島学力・学習状況調査の結果について（報告）
- (3) 各学校における令和6年度学校経営について（報告）
- (4) タブレット端末の修理代について

5 動議の討論等

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉会

議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
<p>議案第3号 令和7年度「垂水市の教育」基本方針について</p>	<p>垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第1号の規定に基づき、会議の議決を求めるもの</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>原案可決</p>
<p>議案第4号 垂水市立学校の在り方検討委員会設置要綱の制定について</p>	<p>垂水市教育委員会の行政組織等に関する規則第11条第3号の規定に基づき、会議の議決を求めるもの</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>原案可決</p>
<p>議案第5号 令和7・8年度の垂水市学校薬剤師の委嘱について</p>	<p>学校保健安全法第23条第3項の規定により、委嘱することについて教育委員会の承認を求めるもの</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第6号 垂水市教育委員会教育長の辞職の同意を求めることについて</p>	<p>垂水市教育委員会教育長の辞職願について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第10条の規定により、教育委員会の同意を求めるもの</p>		<p>同意</p>
<p>議案第7号 垂水市教育委員会委員の辞職の同意を求めることについて</p>	<p>垂水市教育委員会委員の辞職願について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第10条の規定により、教育委員会の同意を求めるもの</p>		<p>同意</p>

議事内容等

3 議事	
教育総務課長	議案第3号 令和7年度「垂水市の教育」基本方針について (非公開) (原案可決)
教育総務課長	議案第4号 垂水市立学校の在り方検討委員会設置要綱の制定について (非公開) (原案可決)
学校教育課長	議案第5号 令和7・8年度の垂水市学校薬剤師の委嘱について (非公開) (承認)
教育総務課長	議案第6号 垂水市教育委員会教育長の辞職の同意を求めることについて (非公開) (同意)
教育総務課長	議案第7号 垂水市教育委員会委員の辞職の同意を求めることについて (非公開) (同意)
4 その他	卒業式入学式の出席について (非公開)

学校教育課長	<p>鹿児島学力・学習状況調査の結果について(報告) (資料に沿って説明)</p>
学校教育課長	<p>各学校における令和6年度学校経営について(報告) (資料に沿って説明)</p>
福里委員	<p>タブレット端末の修理代について 子供が中学校を卒業するに際し、タブレット端末のどっかが悪く、その部分について弁償しないといけないかも、ということをお子さんから聞かされたが、修理代を出さないといけないのか、そういうことは、よくあることですか。 充電器のところは、セーフだったと言っていました。学校からは特に言われてはいないのですが、卒業するときに弁償をしたりとか、みんなあるのかお聞きします。</p>
教育長	<p>乱暴な扱いして壊したとかという場合は、保護者の方に申し訳ないですけども、個人負担をしていただくというのが大原則です。 導入してからもう4年経っていますので、使用の段階で経年劣化もあると思うので、そういったものについては、教育委員会の方で負担するというのが基本的な考え方です。</p>
福里委員	<p>よくわからないのですが、先生に話をして相談すればいいのですか。 もしそういう弁償が発生するのであれば、小学校に入るときに最初で説明をしてもらって、いくらならいくら、という額を最初で払っておけばいいのかなと思ったところでした。 経年劣化で壊れているようであれば、なんとなんとなんと言われているのですかね。 でも、ほとんどが当てはまるみたいなこと言っていて、お金を出さないといけないと私に子供が言ってきたのですが、学校からは何も言ってこないで、多分違うと思うのですが、そういうことはよくあるのかなと思ったところでした。</p>
学校教育課長	<p>「わざと」というのはないわけではないのですが、1年間に1件あるかないかぐらいで、という話は聞くことがあります。 その時は教育委員会でも検討して「それはちょっと保護者の方に説明して対応してもらっていかないといけないかもね」というのはありますけれども、明らかな本人によるそういう故意によらないものについては、教育委員会でも修繕費を持っておりまして教育委員会でも対応しており、不足した場合には補正にかけたりして対応しております。</p>
教育長	<p>画面が割れるとかいうのも教育委員会でも予算を持っています。 議員さんからも子供の使い方みたいところで質問がでるのですけれども、ご理解を示してくださっています。 よっぽど乱暴な取り扱いして故意に壊したというのは、基本的に請求し</p>

	<p>ますが、今説明があったとおり学校教育課の予算で対応しますので、大丈夫です。</p>
福里委員	<p>話は変わりますが、昨日、卒園生である中学2年生の子が来て、すぐ私に「10月からタブレットが変わる」と言っていました。機種が変えるということですか。そんなに言われて、「どういうこと」って聞いたら、「タブレットが変わる」と、それでうれしかったのか、私に言ってきたのですけど、前、説明があったことですか。</p>
学校教育課長	<p>情報が早いですね。今、子供たちが使っているタブレットは、5年間を目安に使っており、来年度はその5年目となります。</p> <p>来年度の途中から新しい新種の購入作業を行います。ただ、子供たちに2学期ぐらいからまわるということはないと思います。</p> <p>まず、先生方に第1弾として、新しいものを配って職員研修等を使ってもらって、使い方をしっかり学んでもらうことを考えておりますので、子供たちへは早く3学期ぐらいに新しい機種を配るという形になるかと思えます。来年度の入れ替えです。</p>
5 動議の討論等	<p>動議の討論等に入る。</p>
教育長	<p>この前、福里委員から出たタブレットの使うときの姿勢について、学校教育課長は、どんなふうに学校の方に伝えてありますか。</p>
学校教育課長	<p>校長研修会がございましたので、そこで校長先生方には「こういう意見もあります」ということは伝えてございます。</p> <p>実際には、新年度になった4月の頃にきちっとした学業指導をしなければいけませんので、その4月になってから、また改めて管理職研修会の中で話をして、各学校で指導してもらいたいと考えているところでございます。</p>
6 委員並びに教育長及び課長報告	<p>委員並びに教育長及び課長報告に入る。</p>
明石委員	<p>一昨年、再任用で鹿屋市の中学校に勤務したときは、まだコロナ対策を行っていた頃でした。</p> <p>忙しい教頭先生が毎朝生徒玄関に立って、登校してくる子供たちの検温カードをチェックされていました。</p> <p>その時に教頭先生が生徒一人一人の名前を覚えておられて、声かけをしていることにとっても驚きました。</p> <p>私も再任用1年目でしたので、大変そうな教頭先生のお手伝いをしたいという気持ちと、生徒の名前を早く覚えたいという思いから、一緒に健康カードのチェックとか、挨拶、掃除を行いました。</p>

そのため、毎朝7時過ぎには、学校に到着するように家を出ていました。冬場は通勤の行きも帰りも暗闇の中でした。日没はどんどん遅くなっていくのですが、日の出はなかなか早くなりません。それでも2月の半ばごろだったのでしょうか。ある朝突然通勤途中、モノクロだった風景の中に鮮やかな黄色が飛び込んできました。道端に咲く菜の花が、日の出が早くなったことを教えてくれました。

今年もあちらこちらで菜の花が揺れる3月3日に垂水高校の卒業式に参列いたしました。卒業生の姿勢、それから返事がすばらしくて、卒業生代表の言葉からも、この子たちがいい3年間を過ごしてきたことが十分伝わってきました。一人一人の未来に幸多かれと祈ることでした。

卒業式に参列する度に思うのは、式場に飾られた花の美しさです。垂水高校には、上品なペチュニアが並んでいました。

垂水中央中に勤務していたとき、学校主事さんは、ほかのどの日でもない卒業式に向けて、毎日花の世話をしてくださっていました。私は当時卒業式予行のときに、卒業する子供たちに「主事の先生が明日の卒業式の日にも最も綺麗に咲くように育ててくださった花々がみんなの卒業を彩ってくれます。感謝の気持ちを忘れないようにしましょうね」と話したことがありました。

どの学校の主事さんも思いは同じだと思います。今年は、春の花の咲く時期が遅れているというふうに聞いて難しかった面もあるのではないかなと思います。育ててくださった熱意を思いながら、中学校、小学校の卒業式に参列させていただきたいと思います。以上です。

教育長

中学校の花は、いつもきれいですよね。
会場の花、いよいよ明日です。すばらしい卒業式になるのを期待したいと思います。

葛迫委員

県民文化フェスタin鹿児島2024の展示部門が、2月27日木曜日から3月2日、日曜日までカクイックス交流センター、鹿児島県民文化センターの6階ギャラリーで開催されました。この件についてご報告を申し上げたいと思います。

今年度のフェスタの展示部門のテーマは「鹿児島の祭り」ということで、曾於市の弥五郎どんまつりでは、高さが2メートルほどの小弥五郎どんが展示されていて、その周りを今まで開催されたポスターや当時の祭りの様子を写真で飾り、祭りの雰囲気を醸し出していました。

また、肝付町の高山流鏝馬やいちき串木野市大里地区に伝わる市来七夕踊り、日置市に伝わる伊作太鼓踊りに使用される太鼓や衣装道具などが展示され、多くの市町村の祭り、伝統芸能の様子がうかがえる展示となっていました。

本市では、写真家の川畑孝美さんが、志布志市のお釈迦まつりの写真を展示し、会場を盛り上げてくれました。

絵画や陶芸工芸、書といった展示物は、大隅地方を拠点とした作家を中心に、県の文化協会がまとめていました。

書に関しては、曾於市の福元美恵子氏を中心に、垂水市出身の伊之口鳳州氏の「かな」、そして工芸では、和田コンでもお世話になった故桑原武

	<p>満氏や今回、3月に開催される子供陶芸教室でお世話になる岩田鉄山氏の作品も展示されました。</p> <p>絵画に関しては、物故作家として名前が挙げられた本市教育委員会所蔵の和田香苗氏の水之上平野と桜島、海潟から望む桜島の油彩が2点、曾於市出身の吉井淳二氏の作品3点、鹿屋市出身の有水基雄氏、鳥取政昭氏、宍野勝文氏、向吉文男氏の作品5点が展示されました。また、和田英作氏の渡島の夕暮の模写作品も展示されました。</p> <p>絵画の一般部門では、垂水市では葛迫の作品3点、鶴田公人氏の作品2点、池田政年氏の作品2点、篠原寛人氏の作品2点も展示されました。</p> <p>展示空間については、受付を入り会場に入ると、華道の文化団体で創作された華鉢14鉢が出迎え、第1展示場から絵画57点、工芸作品32点、書48点、写真22点、そして祭りに関わる作品が一堂に会場を埋め尽くす空間に大隅の宇宙感を感じたところです。</p> <p>展示作業については、会期前日の26日の10時からの搬入、そして展示というところなのですけども、社会教育課7名に展示をサポートしていただき、職員送っていただいた教育長、社会教育課長には、ありがたく感謝申し上げます。</p> <p>鹿屋市や曾於市の教育委員会からの展示サポートは一切なく、垂水市だけで祭り以外は展示作業を行ったと自負するところです。</p> <p>実行委員長や実行委員の方々からは「助かったなあ」という言葉をいただき、本当にうれしく思ったところです。夕方4時頃無事に全作業が終了した。</p> <p>また、撤去搬出に関しても同様で、本市の職員に夜7時まで奮闘していただきました。この日は、垂水市では、垂水カップフェンシング競技大会、そして鹿児島マラソン、その中、すごく雨が降ったということも重なり、進入規制が解除するまでは、作品搬入口搬出口に車が入れないなどといった交通規制に遭い、大きく時間をとっての搬出でした。</p> <p>今回のイベントにご参加、ご協力いただいた関係者や団体、そして会場にわざわざ足を運んでご観覧いただいた方々には厚くお礼申し上げる所存です。以上です。</p>
教育長	<p>社会教育課の職員が本当に気持ちよく出ていてくれて、そしてまた葛迫委員からお礼の言葉もあったので、また伝えると非常にまた喜んでいました。それは本当に社会教育課長の配慮です。</p>
葛迫委員	<p>垂水市だけでした。みんなが作品を鹿屋市のものから大隅、他の市町村のまで全部展示し、最後はちゃんと高さを揃えてもらって展示されたのを見た方は、「すごく綺麗だった」というようなお褒めの言葉も本当ありがたかったなと思っています。本当ありがとうございました。</p>
田之上委員	<p>明石委員、葛迫委員から今詳しくお話があったことと同じなので、簡単に報告・感想を申し述べます。</p> <p>私も垂水高校の卒業式に参列させていただきました。24名の卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。在校生の送辞、卒業生の答辞を聞きながら、生徒さんたちの高校生活が楽しく充実した3年間であったのだろう</p>

と思うことでした。また、式の間中、在校生の多くが両足をきちんとそろえて着席しており、しっかりとした様子が頼もしく伝統は引き継がれているのであろうと感ずることでした。

次に、前回葛迫委員より紹介されていた県民文化フェスタを見に行きました。会場に入って、まず葛迫委員の絵がありました。

芸術には全くの素人ですが、圧倒されるような迫力と温かみを感じました。葛迫委員に続き、垂水の方の素晴らしい絵が続きました。

和田画伯ゆかりの垂水市、吉井画伯ゆかりの曾於市などから多くの作品が展示されていました。

鹿屋市からは多くの方の作品が展示されており、多くの方々は、絵画や書を楽しみながら研鑽を続けていらっしゃるのだと改めて思いました。

また、県内各地の祭りについての展示紹介もあり、豊かなひとときを過ごすことができました。開催に尽力された方々に御礼を申し上げます。

以上です。

福里委員

2月22日、土曜日に開催されたドッジボール大会に子供が参加しました。4年生の先生が希望者を募って、1か月から2か月かけて、朝の時間や昼休みに練習をして大会に臨みました。最初はルールもわからないところから、先生に「ドッジボールが嫌いになるかも」と言われながら、みんなで力を合わせて頑張っていました。初めての出場だったので、最初の1試合目はすごく緊張してる様子が見られたのですが、尻上がりに良くなって、あと1回勝てば九州大会に出場できるというところまでいきました。最後の相手が優勝候補でしたが、そこに1点差で負けておいしい試合でした。

最初で最後のドッジボール大会だったのですが、とてもいい経験になりました。このような機会を与えてくださった先生方に感謝したいなと思います。

中学校の子供は、友達も公立高校の受験を終えて、明日の卒業までの日にちを楽しく過ごしています。

今年度は私立高校の受験問題が例年より難しかったようで、公立高校を受験した子供たちは、私立の問題よりも比較的簡単だったという方が多かったようです。今までの頑張りが報われて全員の公立高校に合格できるといいなと思います。以上です。

教育長

では、私の方から垂水高校の話はもう出ましたので、同じ思いでございました。

あと原監督の講演ですが、私は内容もよかったですけれども、やっぱり、来場者を乗せるのがうまいなと思いました。結果、自分が乗ってくる。ここらあたりのテクニックはすごいなと思いました。なんていうか講演をまるで楽しんでいるかのように私には見えませんでした。原監督の独壇場でした。そんな感じがしました。

内容としては、人材育成だとか、教育とか、組織の経営学、非常に奥深いものであったように思います。難しいことを難しいと感じさせないところの話術テクニックは本当素晴らしいです。子供には少し難しい面があったかもしれません。

これまで文化会館にお勤めで、こういったイベントごとを見てきた方の弁によると講演で850人も来る講演はあり得ないというようなことを言われていました。だから、原監督の人気というのか、人を引きつけるすごさというのに本当驚いたということをおっしゃっていました。

次に、垂水フェンシング各競技大会についてです。3月2日、小中学生の部で個人戦が開催されまして、社会教育課長をはじめ、社会教育課職員の方々は一生懸命運営の方をやってくださいました。県のフェンシング協会役員の方々とも非常にうまく連携しながら、スムーズな競技進行で時間どおりに終わることができました。

表彰式、閉会の挨拶を私の方でさせていただきましたけれども、中学生ぐらいになるとすごく力強さも出てくるのですが、小学生はかわいいです。1年生、2年生の姿というのは本当にかわいいなと思いながら、一生懸命さが伝わってきます。「勝ちたい勝ちたい」、「1点取りたい」みたいなものが、いいなと思いながら見ていました。

一方、3月8日、9日には、高校一般の部の団体戦がございました。

これも私は2時間程度見せていただきましたけれども、これぐらいになると何ていうか、もう一般とそんな変わらない。特に高校生になると、スピードだとか、力強さだとか、駆け引きみたいなものも含めて、やっぱりすごいなと思いながら見ることでございました。

9日はたるみずスポーツランドでサッカーが行われ、文化会館では垂水吹奏楽団の演奏会があるといったような行事が重なった日でございました。

きっと市外から多くの方々がお越しいただいて、垂水にとっていい1日だったなと思うことでございました。

これからもこの垂水カップフェンシング競技大会は続けてまいります。

「オリンピック選手を輩出したまち」ということを売りに大会を続けておりますので、きっとまた来年度も小中生含め、高校生一般の方々もお見えになるのかなと思っています。私からは以上でございます。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

2月13日から3月11日までの主な行事等について各課長が報告。
併せて、3月12日から4月10日までの行事予定についてお知らせした。

学校教育課長

不登校の状況についてでございます。2月末現在で小学生が6人、中学生が19人ということで、今25人でございますが、去年は年間で小学生が10人、中学生が21人の計31人でした。

この31人という小学校、中学校とも大体全国平均とほぼ同じということでしたけれども、今年度は、また全国的には、不登校の課題が大きくなっているということを聞いておりますので、それからすると今年は少し抑えられたのかなというふうに思います。

引き続き、この対応は必要かなというふうに思っておりますことから、来年度は新たな施策も考えておりますので、1人でも子供たちが登校できるよう対応してまいりたいと思います。

以上です。

教育長

不登校、これは本当にどこの市町も大変苦慮しているようです。
本市も来年度から新たな取り組み、支援センター、校内支援センターの
拡充を小学生も含めて、早期からの対応というところも視野に入れながら、
取り組んでいきたいというふうに思っております。
学校にいかなくてもいいという、案外そういう考えの子もいるのでしょ
うか、なかなか難しいなというふうに思います。
しかしながら、将来の子供たちのことを考えると、何とか社会との繋が
りだとか、学校との繋がりをここは大事にさせてあげたいなという思いが
ございます。
ぜひ、来年度、少しでも不登校解消できればいいなと思いますし、新た
な不登校出さないという方向で、また進めていければと思っているところ
でございます。

7 閉 会